

## 情報公開文書

下記臨床研究は「JA 北海道厚生連札幌厚生病院倫理委員会」の承認および病院長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用は研究計画書に従って、個人情報保護に配慮した仮名加工、匿名加工等の処理が適切に行われており、研究対象者の氏名や住所等の個人情報が特定できないよう、個人情報保護法を遵守して安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また本研究の成果は専門領域の学会や論文で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方、またはその代理人の方で試料・診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合は担当者にご連絡ください。なおその申出は研究成果の公表前までの受付となりますことをご了承願います。

### 『切除不能進行胃癌における Vulnerable な患者の治療方針において、高齢者機能評価(Geriatric 8)の有用性について検討する』

#### 1 研究の対象

2020年4月1日から2023年9月30日までにJA北海道厚生連札幌厚生病院化学療法内科で抗がん剤治療を開始された切除不能進行胃癌の患者31名。

#### 2 研究目的

切除不能進行胃癌患者に対する積極的な治療として化学療法が行われているが、昨今の高齢化の進行により、しばしば治療が難しいVulnerableな患者に遭遇する。担癌患者の治療方針を決定する際に高齢者機能評価の一つである Geriatric 8(以下G8)が有用とされているが、胃癌患者についての報告は少なく、当科で治療された患者のデータを用いて、その有用性などについて検討する。

#### 3 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報:記載例:診断名、年齢、性別、治療内容、検査結果、CTによる画像診断結果、Geriatric 8のそれぞれの項目、転移臓器個数、PS。生存期間および無増悪生存

期間を含む治療効果等。

#### 4 研究組織

当院単独での研究です。

#### 5 情報の提供先・提供方法

本研究には関連がありません。

#### 6 利益相反に関する事項

記載例: 本研究は特定の企業等からの資金等の提供は無いため利益相反はありません。

#### 7 お問い合わせ先

JA 北海道厚生連札幌厚生病院 (☎: 代表 011-261-5331 内線 4152)

研究責任者: 化学療法内科 岩永 一郎

問い合わせ担当者: 化学療法内科 岩永 一郎